

7番（木村 宗朝君） 今回は3項目の質問をいたします。

1点目、障がい者スポーツについて、2点目、陸上競技場の記録について、3点目、過去の質問についてです。

最初は障がい者スポーツについて、質問をいたします。

東員町でも総合型地域スポーツクラブが発足して3年目になります。クラブの中にいくつものメニューが用意されている多種目、子どもからお年寄りまでの多世代、初心者からトップレベルの人が一緒にクラブで活動をするといった多趣向というクラブの理念がありますが、もう1つ、障がいを持っている方も含めたクラブ運営をということがあります。しかし、まだまだそのようなところまでは難しいのが現状であると聞いております。

30年ほど前だったと思いますが、三重県の障がい者の運動会を東員町で実施した記憶があります。また、自動車関係で働く者でつくる労働組合、自動車総連では、毎年1回、各県ごとに障がい者施設の方々との運動会である「ナイスハートふれあい広場」というのを実施していますが、私自身もとても楽しく参加しています。

そこで町長に伺いますが、東員町としても、そのようなことを実施してはどうかと考えます。障がい者の方も含めたスポーツ、障がい者スポーツをどのようにとらえられているか、考えがあればお聞かせいただきたいと思います。

議長（山本 陽一郎君） 水谷町長。

町長（水谷 俊郎君） 木村議員からの障がい者スポーツについてのご質問にお答えをいたします。

障がいのある方々へのスポーツ振興は、本町の掲げる、誰もが普通の生活のできる地域づくりにとりまして、大変重要な要素であると認識をいたしております。

現在いなべ地区におきましては、各学校の特別支援学級に在籍の児童生徒が、交流と体力増進を目的に「あすなる運動会」を、教職員や保護者、そして地域のボランティアの皆さんのご協力のもと、毎年1回開催されているところでございます。

議員ご提案の障がい者の方々の方々のスポーツ大会でございますが、私の個人的な考え方といたしまして申し上げますと、障がいのある方だけに集まっていたら大会では何の意味もないというふうに思っております。

私が描きますこれからのスポーツ大会は、例えば駅伝大会を例にいたしますと、健常者の子どもから高齢者まで、それと車いすや目のご不自由な方など、障がいのある方のランナーまでが、みんなが同じ土俵に上がって、そして参加して、一つのタスキをつないでいくような大会をイメージしておりまして、そういう大会が開けないものかと考えております。

具体的には、来年度に陸上競技場を会場といたしまして、そのような大会の開催ができないか、検討をしていきたいと考えておりまして、翌年度、あるいは翌々年度の開催を目指していければなと思っております。

できれば距離はマラソンと同じ42.195キロとし、将来的には国際大会が開けないかというようなことまで夢を持って考えております。これには、たくさんの壁もあろうかと思いますが、皆様のご理解を賜り、前向きに進めてまいりたいと考えておりますので、ご支援賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番（木村 宗朝君） そこまで障がい者のスポーツを具体的に考えてみえるということは知りませんでしたけれども、今言われたようなことが、駅伝大会なんか具体的に進んでおるのかどうかということをお聞きしたいんですけど、このような大規模なことは、体育協会とかフレンドリーとか、そういった団体だけではとても難しい話だと思うんですね。町が主体となってやらなければ、将来的に国際大会というようなことも出ましたけれども、難しいと思いますが、町が主体的にやる。具体的などころまではいつているのかどうか、ちょっとお聞きしたいと思いません。

議長（山本 陽一郎君） 町長。

町長（水谷 俊郎君） 申しわけございませんが、今のところ、私のまだまだ腹案の状況でございますが、これから検討に入ってまいりたいというふうに思っているところでございますけれども、何としまして、今までは、やはりオリンピックはオリンピック、パラリンピックはパラリンピックと分けられた状態の大会、これが常識でございましたので、何とかオリンピックとパラリンピックを一緒にできないかというのが発想でございまして、一緒になって一つの大会を開催できればというふうなことを強く思っておりますので、来年になりましたら検討を始めていきたい。来年度、要は平成24年度には本格的な検討に入っていきたいと思っております。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番（木村 宗朝君） そこで町長が言われるような大会が、いろいろ難しい面があるというようなことなんですけど、町長が思ってみえる難しい面をいくつか挙げていただくとすると、どのようなことが壁といいますか、障がいになるかをお聞きしたいと思います。

議長（山本 陽一郎君） 町長。

町長（水谷 俊郎君） まずは、こういう大会がどこにもないということですね。例がないということですね。ですからゼロから考えていかなければならないというのが、まず一番大きな壁ではないかと思っております。

その中で障がい者の施設、あるいは関係者、スポーツ施設関係者、それから行政、民間、こういったいろんなところへ働きかけて、いろんなご協力をいただかないと、できないかなというふうなことを思っておりますので、一つ一つ問題を出して、そしてそれを一つ一つ片づけていく、一つ一つ解決していくというふうな方向で検討

を重ねてまいりたいと思っておりますが、まだその中でどんな壁がまた出てくるのか、ちょっとわかりかねるところもあります。それが一番大きな壁かもわかりませんが、ともかく前向きに進めていきたいと思っております。

ぜひともご協力賜りますよう、お願いを申し上げたいと思います。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番（木村 宗朝君） 私が思うには、いくつかの難しい面があると思いますが、一つは東員町には宿泊施設がないということが大きなことかなと思うんです。民泊ということも考えられますけれども、そういった施設が皆無という状況で、このような大会ができるのかなと、こういうふうなことも思います。

桑名市の駅伝大会で人気があるのは、長島温泉があって、全国から、それも楽しみに参加するということがあって、だんだん参加者が増えているということがありますが、東員町の場合は、この大会に限らず、陸上競技場で大会があっても桑名で泊まったり、四日市や鈴鹿まで宿泊所を探しに行くということがあって、一番の問題はこれかなと思うんですが、それを大会に合わすとなると、なかなかそれは難しいですけど、これも解決するきっかけかなと思うんですけど、宿泊施設に関しては、後の質問にもありますけど、このことに関しては町長はどのように考えてみえますか。陸上競技場を使う、あるいはほかの施設も含めて宿泊施設がないということに関して。

議長（山本 陽一郎君） 町長。

町長（水谷 俊郎君） 宿泊施設に関しましては、現実問題、東員町内でホテル、あるいは宿泊施設をつくりたいというような民間の皆さんのお問い合わせがあったことも聞いておりますし、私も承知しておりますけれども、実際に宿泊施設をつくれるような都市計画になっておりませんで、なかなかいい場所が見つからないということで、断念をされているというふうに伺っております。

宿泊施設につきましては、行政が手を出すべきものではございませんので、そういう事業者があって、そして条件を整えば宿泊施設をつくるというような、そういう事業者があった場合には積極的に誘致をさせていただきたいとは思っておりますが、まずは多分、都市計画を見直していかなければ実現が非常に遠いのかなというふうなことも思っておりますので、全体的な東員町の青写真というものも考えながら詰めていきたいなと思っております。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番（木村 宗朝君） 宿泊施設はそのような考えとして、私も障がい者スポーツというのをぜひとも推進していただきたいと思っておりますし、自分自身もそのようなことにかかわりたいなと、こういうふうに思っておりますので、そのような大会が開けるように、みんなで努力したいなと思っております。

2問目にいきます。

2点目の質問は、東員町総合運動公園陸上競技場での記録を掲示してはどうかという質問であります。

ご存じのように、東員町の陸上競技場は日本陸連の2種公認であります。しかし私たち町民は、記録を目にすることはほとんどありません。どの程度の記録が出ているのか、さっぱりわからない状況であります。

中学校にいくと、体育館にはマラソン大会の歴代の優勝者が掲げられています。

そこで東員町陸上競技場が出た記録、あるいは東員町在住者が他の競技場に出した記録など、100メートルの記録保持者、200メートルの記録保持者といったことを掲示したらどうかと思います。

そのようなことを考えることはありませんか、町長にお伺いいたします。

議長（山本 陽一郎君） 水谷町長。

町長（水谷 俊郎君） 議員ご提案の、競技場内に記録を公表することについてでございますが、このことに関しましては、何ら問題があるものではございませんので、掲示公表の形で、掲示の場所、内容、方法等を関係機関と詰めて早急に対応をさせていただきたいと思っております。

ちなみに、これまでに町陸上競技場で記録されました県の記録をご紹介しますと「中学生女子、100メートル、水谷友紀さんが12秒26」というもの、ほか3つの記録がございます。早急に取り組みたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いを申し上げたいと思っております。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番（木村 宗朝君） 今言っていたのは、東員町の陸上競技場が出た記録ということを示すということですが、もう一つ、さっき言ったように、東員町在住の選手がほかの大会で公認記録、それもできれば掲げていただきたいと思っております。東員町民の人の励みといいますか、この人が記録保持者だと。例えばマラソンで言うと、何々さんという方が2時間11分台で走ってみえると思っております。100メートルは10秒台の人が何人かみえると思っておりますので、東員町在住の人の最高記録も一緒に掲げていただきたいと思っておりますが、そういう考えでよろしいでしょうか。

議長（山本 陽一郎君） 町長。

町長（水谷 俊郎君） ご指摘賜りましたことについても前向きに検討させていただきたいと思っております。また、担当部署より議員にもご相談申し上げることもあるかと思っておりますので、そのときはご指導賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番（木村 宗朝君） よろしくお願いたします。

それでは3点目にいきます。

3点目は過去8年間、29回の質問をいたしました。その間、町長がかわられましたので、町長の考えも違って当然であります。そこで調査中、検討中といった懸案事項である14項目について再度質問をします。新町長の答弁をお願いいたします。

1点目は青年団の再組織化をしたらどうかという質問であります。以前のような青年団は難しいとしても、町の活性化のために何らかの形で若者が集まる場、組織というものをつくる考えはありませんか。

2点目、未婚者支援事業であります。まず調査を実施しますとのことでしたが、具体的にその後を、お聞かせいただきたいと思えます。

3点目、スポーツ施設や中部公園に付加価値をつける。具体的には先ほども言いましたが宿泊施設やキャンプ場、野外ステージ、レストラン、売店、中央球場の公式野球場の整備などあります。

4点目、中部公園の管理棟をスタートホール付近にしたらどうか。中部公園の現在の管理棟を売店や他の用途に利用し、スタートホール付近の休憩所をパークゴルフ場のクラブハウス兼管理棟にしたほうがよいのではないのでしょうか。

5点目、体育振興事業と施設管理の方向性をお聞かせいただきたいと思えます。

6点目、役場周辺、体育館、駐車場を拡大することについてであります。文化センターの駐車場は広くなりましたが、役場周辺、体育館の駐車場は狭過ぎます。工夫次第ではもう少し広くできると考えますが、そのような考えはありませんか。

7点目、体育施設使用料見直しであります。一昨年、文化施設、体育施設の使用料の値上げがありました。その後、減免制度の見直しがありました。しかしそれでは不十分であると思えます。再検討する必要があると思えますが、その考えをお聞かせいただきたいと思えます。

8点目、文化施設・体育施設に休館日は必要か。文化施設・体育施設は火曜日が休館日になっていますが、利用の多い施設を休館日なしにしてもよいのではないかと思います。どのような考えかをお聞かせください。

9点目、友好親善都市の姉妹提携を増やすことについてであります。

現在は大台町と友好姉妹提携を結んでいますが、それは継続していただくとして、新たに他のところとのそのようなことを考えてはどうかと思えます。防災面から見ると、もう少し距離のあるところと提携するべきではと思えます。他の市町の例を見ても、ある程度距離があるところと提携することが進められています。どうでしょうか。また、防災面からだけではなく、文化・スポーツなど、多方面から交流を推進したらどうでしょうか。

10点目、人事異動の周期を長くすることについてですが、人事異動が頻繁に行われているような感じを受けます。腰を据えて、もう少しサイクルを長くして仕事

をしてもらうほうがよいのではないかと思います、どのような考えかをお聞かせください。

1 1点目、防災訓練、敬老会、フェスティバルについてであります、防災訓練については、現在行われている6年に1回の校区巡回をやめて、自治会ごとの防災訓練を指導・助言する方向にするべきではと思います。敬老会については、現在の敬老会と、隔年ごとでもよいので自治会で敬老会を行い、そこへ補助を出す方法はどうかと考えます。

フェスティバルがなくなりましたが、笹尾祭り、城山祭りに加え、神田・稲部・三和を5年に1回、そこへ重点的に補助を行い、趣の違う5つの祭りを住民主体で作り上げることに今までのフェスティバルの予算を使ったらどうかと考えますが、どうでしょうか。

1 2点目、自主文化事業を満席にするまちづくり補助金についてであります、町が主催する自主文化事業は空席があります。しかし先日行われた東日本大震災救援の会、いなべ主催のコンサートでは、ほぼ満席でありました。それも補助金なしであります。そこで、そのような団体を育て、そのような団体に少し補助を出し、1年に1回でも2年に1回でも、そのような催しを企画してもらうほうが、文化振興に有効ではと考えます。そのようなことをまちづくり補助金としたらと考えますが、どうでしょう。

1 3点目、幼児教育の無償化であります、予算は必要であります、9,000万円ぐらいと思いましたが、人口増の施策としては有効であると考えますが、どうでしょうか。

1 4点目、以前は小中の校庭の芝生化を質問いたしましたが、今回は園庭の芝生化であります。視察などを行って、小中学校では難しい面もあるようでしたが、幼稚園・保育園の園庭なら可能で有効であると感じました。そのような考えはありませんか。

以上14点について、町長の答弁をお願いします。

議長（山本 陽一郎君） 水谷町長。

町長（水谷 俊郎君） 議員が以前質問されました14点につきまして、4月に新しく就任させていただきました私の考えということで、述べさせていただきます。

1点目の青年団の再組織化につきましては、これからのまちづくりを考えたときに、若い人に活力があるということは大変重要な要素であると考えております、今の人の考え方、思いは多岐多様にわたり、活動範囲も拡大している現状を考えますと、非常に難しいのではないかと考えております。

しかし本町では現在、中心市街地づくりを模索しておりまして、そこには若者が集まる活気のある場として位置づけることが重要であると考えております。

また、若者のまちづくりへの活動につきましては、行政といたしましても積極的に支援をしてまいりたいと考えており、最近の事例といたしましては、再来年の2013年を目指して「員弁」という言葉が1300年前にできたということで、「員弁1300年祭」に向けて、まちづくりに取り組まれている若者のグループがございまして、私どもも、この取り組みを支援させていただくとともに、一緒になって1300年祭の成功を成し遂げてまいりたいと考えております。

2点目の「未婚者支援事業」につきましてでございますが、先の国勢調査の結果を見ますと、本町の未婚率は増加傾向にあります。行政といたしましても、少子化対策の観点からも、未婚者の支援を行う必要があると考えており、詳細につきましては現在検討中ではありますが、新年度予算において、町内にあるNPOとも連携をしながら、若者に出会いの場を提供できる施策を講じてまいりたいと考えております。

3点目の、スポーツ施設や中部公園に付加価値をつけては、とのご質問に関しましては、来年度、中部公園内にあります管理棟の一部を改修して、物品販売等ができるように考えております。

また、議員の持論であります、これも先ほどご質問がありましたが、スポーツ施設周辺に宿泊施設やレストランなどの付帯施設を整備しては、とのご提案につきましては、行政だけで手がけることは困難であり、スポンサーや有意の民間事業者が現れましたときに考えてまいりたいと思っております。

中央球場を硬式野球が行える球場に整備しては、ということでございますが、そうなりますと施設面で、これまで以上の高度な安全対策をとらなければなりませんので、それには慎重な検討が必要であり、関係者と協議をしてみたいと思っております。

4点目の中部公園の管理棟をスタートホール付近へ、とのご指摘につきましては、今の管理棟に付随した管理装置や管理業務があり、新たにスタートホール付近に管理棟をつくりますと、建設費や最低1名の人件費が余分にかかるということになりまして、経費節減が叫ばれております今といたしましては、大変難しいのかなと考えております。

5点目の体育振興事業と施設管理の方向性につきましては、誰もがいつでも気軽にスポーツを楽しむことができるよう、地域に根差した「地域スポーツクラブ」として設立されました「とういんフレンドリークラブ」により、さまざまな形でスポーツに親しむ機会を提供いただいております。

体育協会やスポーツ少年団におきましては、それぞれの立場で本町のスポーツ振興を支えていただいておりますが、役目において重複する部分や、それぞれの役割を整理する必要が生じてきております。

今後は、それぞれの団体間の連携や役割分担を明確にし、統合できるところは統合し、さらなる体育振興を図っていきたいと考えております。そんな中で、体育施設の管理運営につきましては、町民の皆さんの利便性やニーズをしっかりと把握した上で、指定管理者制度の活用も含めて検討してまいりたいと考えております。

6点目の役場や体育館周辺の駐車場拡大ということにつきましては、ご指摘のように役場の駐車場は連日ほぼ満車状態が続いておりました。健康診断、がん検診などが行われる日には駐車スペースがないというような状態になっております。したがって来年度、駐車場内の樹木を一部撤去いたしまして、駐車スペースの増設工事を実施いたしたいと考えております。

7点目の体育施設使用料の見直しについてでございますが、施設使用料は、平成21年4月から新料金でご利用をいただいているところでございますが、この料金を再検討する必要があるのではというご指摘ですが、この改定は、近隣市町の使用料を基準として行われたものではなく、料金体系を施設の実態に合ったものとさせていただいております。そのため一部の施設では、他の市町より若干高くなっている場合も見受けられますが、引き続き、現在の料金でご利用いただきたいと考えております。

また、減免制度につきましては、不都合が生じている場合は、解消に努めてまいり所存でございます。

続きまして、文化施設・体育施設に休館日は必要か、ということでございますが、町の施設は19施設ございますが、その施設の設置条例、規則において休館日を設けております。休館の目的の1つには、施設の点検、メンテナンス等に要する日が必要であるということから休館日を設けておりますが、利用者の方々から施設に空きがなく、不都合であるのご意見もたくさんちょうだいをいたしておりますので、休館の必要性も含め、利用しやすい環境整備を検討するよう、指示をいたしているところでございます。

続きまして友好親善提携でございますが、ご承知のとおり、現在大台町と友好親善提携、災害時相互応援協定の締結をさせていただいております。

今年は、3月の東日本大震災や9月の台風12号の被害などでは、いざというときのために備えることの大切さを改めて考えさせられる年でもございました。

本町といたしましては、こうした災害に対しまして、県と連携をいたしまして、宮城県への職員の派遣や紀宝町への給水支援・災害調査などに職員を派遣させていただいたところでございます。今後もこうした災害が発生したときには、友好親善提携や災害時相互応援協定にとらわれず、積極的に支援や応援をしてまいりたいと考えております。

また、県外自治体との友好親善提携等につきましては、今後よいご縁があって結実するものであれば、積極的に交流を図ってまいりたいと考えております。



次に、人事異動の周期を長くということにつきましては、行政へのニーズは近年大変複雑化をしており、専門職員の育成が必要となってきたと考えておりました、そのような観点から、来年度は福祉の専門職員を採用することといたしております。人事異動を実施する際には、行政サービスが低下することがないように、適材適所、適正な人員配置を念頭に、異動の周期につきましても十分考慮をして実施してまいりたいと思っております。

1 1点目の防災訓練、敬老会、フェスティバルにつきまして、まず防災訓練は、町が実施いたしております総合防災訓練と、自治会すべてに自主防災組織が結成されたことにより、自治会単位で地域に則した防災訓練とが実施されております。今後も総合防災訓練と地域での訓練の双方を実施し、地域防災力の一層の強化を図ってまいりたいと考えております。

次に敬老会につきましては、本年の敬老会の出席率は26.1%で、敬老会への参加は年々低下をしている状況でございます。現在、75歳以上対象者へのアンケートの実施や近隣市町の開催状況の把握を行い、地域での敬老会の開催も含め、敬老対象者の方が喜んでいただき、参加しやすい開催方法を、来年度に向けて慎重に検討しているところでございます。

次に、フェスティバルにかかっていた費用分を住民主体で作り上げる祭りに補助してはどうかということでございますが、にぎわいのある催しは、まちに活気を与え、開催いただければ大変すばらしいと思っております。財源の支援につきましては、現在自治会への一括交付金制度化、そういうものの導入を検討いたしております、その中で祭りに配分いただければと考えております。

1 2点目の自主文化事業を満席にするまちづくり補助金につきまして、議員のご提案は、ひばりホールを利用してコンサート等を主催する団体に、そのイベントに対し、補助金を出してはどうかということでございますが、実際には、主催団体が不特定多数となり、団体の認定基準、いわゆる補助基準が現在明確でなく、混乱することが予想されます。ひばりホールを満席にするための一つのご提案と受けとめさせていただきますが、今後、ひばりホールの活用につきましては、新しいイベントの誘致も含め、検討をさせていただきたいと思っております。

1 3点目の幼児教育の無償化が人口増の施策として有効ではないかというご提言でございますが、確かに定住促進の面からは有効な手立ての一つといえると思っております。しかしながら幼児教育を無償化することは、メリット以上に、町財政のさらなる圧迫につながるものと考えておりました、現在のところ難しいと思っております。

最後に園庭の芝生化につきまして、砂ぼこりの抑制、けがの防止、夏季の温度上昇の抑制のほかに、子どもたちの外遊びの増加による体力向上など、多くのメリットが考えられまして、非常に有効な施策であると考えております。

鳥取方式という芝生化の方法がございます。この方式は安価で、そして芝の生長が早く、耐久性にも優れたティフトン芝というポットの苗を数10センチ、50センチぐらいの間隔で植えていくというものでございまして、業者を入れることなく、児童、保護者、学校関係者、あるいはボランティアという方々の作業で、一緒になってその作業ができるというものでございまして、水さえ欠かさなければ3カ月ほどで全面に広がるというふうに聞いております。生えましたら、後は雑草も当然生えてきますけど、雑草も共生をさせるという考え方でございまして、雑草を掘り返して取ることなく、雑草も一緒になって時々刈り込んでやればそれでいいというふうに聞いております。

子どものことですから、芝生の足が長いほうが喜ぶということもございまして、そんなに手間はかからないというふうなことを聞いておりますので、こうした方法も含めまして、前向きに検討をさせていただきたいと思っております。

以上14点、ちょっと長くなりましたけど、お答えを申し上げます。

よろしく願いを申し上げます。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番（木村 宗朝君） 新町長になって、検討から前向きに検討、あるいはもうすぐにでもやってもらえそうな回答もいただきましたが、再質問をさせていただきます。

青年団のことですけど、2013年の「員弁1300年」は、私どのような集まりかわかりませんが、これだけに限らず、きっかけをつくるということが大事かと思っております。行政も、それから昔、青年団にかかわっていた人も含めて、いろんな面で、いくつかのきっかけをつくって、その中で何か若い人が集まってくれることになればいいかなと思っておりますが、それについて、町としてそのようなことをちょっと援助するというのを1300年以外で考えてみえたら、ぜひお願いします。

議長（山本 陽一郎君） 町長。

町長（水谷 俊郎君） 今、1300年祭のことを引き合いに出したんですが、別にこれに限らず、若い人に限るわけではないんですが、特に若い人のお話ですので、若い人がまちづくりに積極的に参加して、自分たちで何かをやっていこうということにつきましては、その内容を検討させていただいて、積極的に支援をしていきたいというふうに思っております。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番（木村 宗朝君） ぜひともよろしく願いをいたします。

2点目の未婚者支援事業であります。NPO法人に依頼をするというようなことを考えているということではありますが、ぜひお願いしたいですし、違った団体も、

労働者福祉団体とか、そういうようなところもいいと思いますので、また検討をいただきたいと思います。

3点目、4点目については同じようなことですので、4点目の管理棟を新たにづくるとなると建設費用、あるいは1人分の人件費が要ということなんですけど、私が言ってるのは今の管理棟を南側の休憩所へ移して、その人がそちらで管理をしてもらって、今の管理棟には、例えば観光協会の事務をやってみえる方が、今は毎日ではないですけど、商工会館でやってみると。商工会館でやる必要性といいですか、そこでやっていただかなくても、管理棟でやっていただければ人件費が要らないのではないかと思います。だから建設費も人件費も要らないので、南の休憩所を管理棟にするということは、スタートホールに管理棟を置いたほうが有効であるということをおっしゃるんですけど、どうでしょうか。

議長（山本 陽一郎君） 町長。

町長（水谷 俊郎君） 中部公園につきましては、来年度になりますか、再来年度になりますか、わかりませんが、今検討しておりますのは、中部公園全体を指定管理で委託できないかということをお考えおきまして、それが全体的な自主事業だとか、いろんなイベントをやっていただけるような、そんな団体、例えば観光協会なりに、もし委託できれば、中部公園でいろんなイベントなり、人を集めることができるのではないかと。そしてまた一方、今何も無い状態からお金を落としていただけるような仕組みができるのではないかと。そういうことの中で、今ご提案のことにつきましても、有効な手段をお考えまいりたいというふうに思っております。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番（木村 宗朝君） それもぜひお願いをします。

観光協会に管理棟を管理してもらって、バーベキューなんかも、今は自分たちで軽トラで持ってきて、熱いうちは無理でしょうけど、また持っていかなあかんというようなことならば、そこで貸し出しをする。無料ではなくて、お金を貸し出して貸し出しをするということをお考え、できるだけ自分たちで補助金なしでいけるようなことを、みんなが少しずつ考えたらどうかなと思いますので、よろしくお願ひします。

6点目の体育館の駐車場を拡大するというんですけど、一部樹木を撤去するというんですけど、一部と言わずに、この際、大幅に改修してもらったほうがいいと思うんですけど、どこをお考えみえるか。

議長（山本 陽一郎君） 町長。

町長（水谷 俊郎君） 一部と言いましても、かなり大規模になってくると思っております、今の駐車場と体育館の間にずっとありますね、あれ全部撤去。それからモニュメントとかありますね、あれも全部撤去というようなところまで考

えておりまして、モニュメントをどうしようかという話が今出ておりまして、あれが何かの記念があるものかどうかとか、今ちょっと議論をしております。どうしても残さなければならぬものは残しながら、多分、真ん中の樹木、例えば極端な話、全部撤去しても、周りずっと樹木がありますので、森ではないんですが、緑の中に庁舎があるというイメージは、そんなに変わらないのではないかな。それよりも利便性を追求をしていこうか、今お困りの方が大変多いものですから、そういうことを考えております。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番（木村 宗朝君） モニュメントは要らないと思います。あそこで休憩しているとか、いいものがあるなどか見ている人は、まずいないと思いますので。もうばっさりやってもらったほうが良いと思います。

よろしくお願いします。

体育施設の使用料の見直しであります。その前に改定後の利用者数と使用料がどの程度になったか、わかってみえたら、ぜひお願いしたいんですけど。

議長（山本 陽一郎君） 服部社会教育課長。

社会教育課長（服部 哲也君） 利用者数と使用料でございますけども、平成20年度と平成21年度利用者数でございますけども、5.5%の減でございます。平成20年度から平成22年度は6.0%の減、使用料につきましては平成20年度と平成21年度で32.2%の増、平成20年度と平成22年度で32.5%の増でございます。

料金と人数を言ったほうがよろしいでしょうか。平成20年度の利用者数は12万500人、平成21年度の利用者数は11万3,900人、平成22年度の利用者数は11万3,200人、使用料におきましては、平成20年度の使用料は910万3,000円、平成21年度の利用料は1,203万1,000円、平成22年度の利用料は1,206万3,000円でございます。

以上でございます。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番（木村 宗朝君） 利用者数は、高くなった関係もあるのかどうか分かりませんが、5%から6%減っておると。使用料は32%ほど増えておるとのことなんですが、どちらをとるかということです。使用料が32%増収になったので、それでいいととるのか、利用者数が減ったことを、やっぱり減ったらあかんなどとするのかということだと思います。

私は少々使用料が増収にならなくても、スポーツをやる人が増えるべきだと思います。税金は町民みんなが納めてますが、特に労働者の人が住民税としては多いと思います。その人たちが余暇を利用してスポーツをして、また明日から仕事頑張ろうかというようなこととか、あるいは健康に気をつけて、スポーツをすることによ

って病気もなくなるということもありますので、私は少々税収が増えるよりも、スポーツをする人を増やす方向のほうがいいのではないかなと思うんですが、どうでしょうか。

議長（山本 陽一郎君） 町長。

町長（水谷 俊郎君） 大変不案内で申しわけないと思っておりますが、私も今の数字を聞きまして、ちょっと検討を始めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番（木村 宗朝君） ぜひともお願いします。若干高いと言われましたけど、若干ではないと思っておりますので、お願いをしたいと思います。

それから友好親善のことについては、ご縁があればということですけど、積極的にと言われましたけども、ぜひとも本当に積極的にやらないと、これはなかなかまとまる話もまとまりませんので、一つだけやなくて、いくつかのところと姉妹提携を結んで、スポーツはスポーツ、文化は文化の交流を、テーマごとにいくつかやる場所があったほうがいいのではないかなと思っておりますが、町長としてはどうでしょうか。

議長（山本 陽一郎君） 町長。

町長（水谷 俊郎君） 大台町、以前は宮川村でしたけれども、大台町との親善提携につきましては、町内にお住まいの宮川村出身の方が橋渡しをしていただいたということでございますので、これから議員も、もしどこかスポーツで親善提携をしていけるようなところがございましたら、ご提案をいただきたいと思っておりますし、今、テーマごととおっしゃられましたので、そんなことも一度この役場庁内で議論をさせていただいて、いいご縁がないのかどうかということも検討をさせていただきます。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番（木村 宗朝君） 次に人事異動の周期のことですが、福祉の専門を今度採用されるということですけど、福祉に限らず、専門職を採用していただきたいということと、3年、4年でかわるということですが、前回も言いましたが、民間では会社へ入ったら40年間ずっと同じ職場で働くということが、大方のというか、かなりの人がそういうことですので、それでスキルが上がっていくということですので、かわってまた一から覚えてというよりも、ずっと長くやっていただくほうが、我々町民にとってはいいことだと思っておりますので、そのことをやっていただくほうがいいのかなと思っております。

議長（山本 陽一郎君） 町長。

町長（水谷 俊郎君） 基本的には同じ考えでございますが、余りにも周期が短いかな。これは町民の皆様からも、いろいろご指摘をいただいている事項で

ございまして、例えばかわるなら同じ部内、同じような職種の中でかわっていただくとかいうことも含めまして、ただやっぱり担当している者につきましては、自分のものにするには何年か時間がかかる。そしたらちょっとなれたなと思ったらかわっていくということは、これは私もいかなものかなというふうなことを考えておりますので、周期につきましては、今議員ご指摘のように、適正な期間というものを含めて考えてまいりたいと思いますし、私も、ほかにも専門職が必要かなと思われる部署もございまして、その辺もひっくるめて考えてまいりたいと思っております。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番（木村 宗朝君） 次に防災訓練、敬老会、フェスティバルについてであります。敬老会は毎年でなくてもいいので、今の敬老会を楽しみにしてみえる方もみえますね。4人に1人しか参加者がいないですけど、そういう方もみえます。かといって4人に3人の方はいつも欠席だと思っておりますので、近いところならば行こうかなという方もみえると思っておりますので、手づくりで自治会ごとにやると大変やわと言われるかもわかりませんが、毎年ではなくて、隔年ごとでもいいのではないかと思いますので、それを考えていただいたらどうかなと思っております。

議長（山本 陽一郎君） 町長。

町長（水谷 俊郎君） 今、敬老会につきましては検討をしております、何せ対象者、4人に1人の方しかお越しをいただけないということがございます。

そして実はアンケートをさせていただいて、見ていただいたイベントで何が一番よかったかということにつきましてのアンケートを申し上げましたら、一番よかったのが中学生のブラスバンドだと。漫才か何かやってみえましたが、それを抜いてブラスバンド、2番目が文化協会の催し物、3番目にプロが来ているというような状況から考えますと、何も高額なお金を払って来ていただかなくても、十分町内で皆さんが楽しんでいただけるようなイベントが開けるのではないかなというふうなことを思っております、その方向で考えていきたいと思っておりますが、今も申し上げましたように、一つにここへ来てくださいということになると、4人に1人しかおみえにならない。これは遠いところ、ということがあると思っておりますが、例えば学校区であるなり、自治会であるなり、開催をしていただければ、参加率はうんと増えるのではないかなと思っておりますし、在来地区におきましては、自治会ごとに既に敬老会をやってみえる自治会、随分ありますので、自治会長の方々ともいろいろ協議をさせていただいて、どのような方向がいいのか、議論をしていきたいというふうなことを思っております、今年中というか、今年度中にそれを詰めて、来年度はちょっと変わった方向へいきたいというふうに思っております。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番(木村 宗朝君) フェスティバルについてですが、一括交付金で毎年同じようなレベルの祭りをやったらどうかと思っているのではなくて、私の言うのは今ある笹尾祭り、城山祭り。フェスティバルは大体800万円ぐらい予算を使っていたと思うんですが、今年は800万円を笹尾祭りにする、来年は城山祭りに800万円、神田地区は神田地区で、その次は神田地区、次は三和地区、次は稲部地区と。

例えば神田地区でやると、石取りが各自治会で大体1台ずつ山車を持ってますので、多分そんなような祭りになるんだろうと思います。稲部か三和へ行けば、馬がメインの祭りになるかもわかりません。そういうことを毎年5つがやるのではなくて、どこかがメイン会場になって、今言ったような趣の違う祭りを5年に一遍のサイクルでやったらどうかという提案です。だから毎年23自治会に一括交付金を出すということではなくて、その予算を5年ごとにそこに出すという案ですけど。

議長(山本 陽一郎君) 町長。

町長(水谷 俊郎君) ご提案の件に関しましては検討もさせていただきますが、例えば城山とか笹尾とか、もう既にまとまった祭りがあるところはいいいんですが、神田地区もそれぞれ同じような祭りがあるということですが、例えば三和地区でいきますと、祭りについてはバラバラでございまして、それが1つに本当になるのかどうかということもこれあり、いろいろ難しいこともあるかと思しますので、検討させていただきますということをお願いします。

議長(山本 陽一郎君) 木村議員。

7番(木村 宗朝君) 次に自主文化事業のことですけど、なかなか難しいのは難しいですが、不特定多数で基準が明確でないと、これが一番難しいと思いますが、基準をつくるのは行政、教育委員会でありますので、そこをきちっとやっていただければ、本当はそのほうがいいのではないかと。全部教育委員会が管轄して、それをやりたいということだとは思いますが、だけど本当にこの間の東日本大震災救援の会いなべの1時間か1時間ちょっとのコンサートでしたが、感動したという方がたくさんみえました。だからそういう団体がやってもらうところに、ちょっと補助を出してやってもらったほうが、満席にする確率が高いのではないかという思いで言っておるんですが、補助基準が明確でないというのは、自分たちでクリアすればいいことかなと思うんですが、どうでしょう。

議長(山本 陽一郎君) 町長。

町長(水谷 俊郎君) ひばりホールの文化事業につきましては、いろんなイベントの誘致も考えておりまして、例えば来年には、ひとつ考えておりますのはミュージカルを考えておりまして、今でもそのミュージカルはローカル集団なんですけど、2500~2600人は軽く集めるというような集団でございまして、ぜひとも東員町へということで今誘致を行っておりまして、ほかにもこういったことが

あれば、どんどん誘致をしていこうというふうなことを考えておりますので、お願いをいたします。

議長（山本 陽一郎君） 木村議員。

7番（木村 宗朝君） 最後ですけど、13番目の幼児教育の無償化は難しいのはわかっていて言っておるんですけど、また言い続けたいと思います。14番目の園庭の芝生化、これはぜひとも進めていただきたいと思います。小学校・中学校は広くて難しいなと思いますし、子どもも体重が重いといって、きれいに生えそろわんということもあるみたいですが、園庭なら、こらいけるぞという感じは受けましたので、ぜひとも進めていただきたいと思います。

以上で終わります。